

1. 館山寺スマートIC 位置・概要

● 道路名

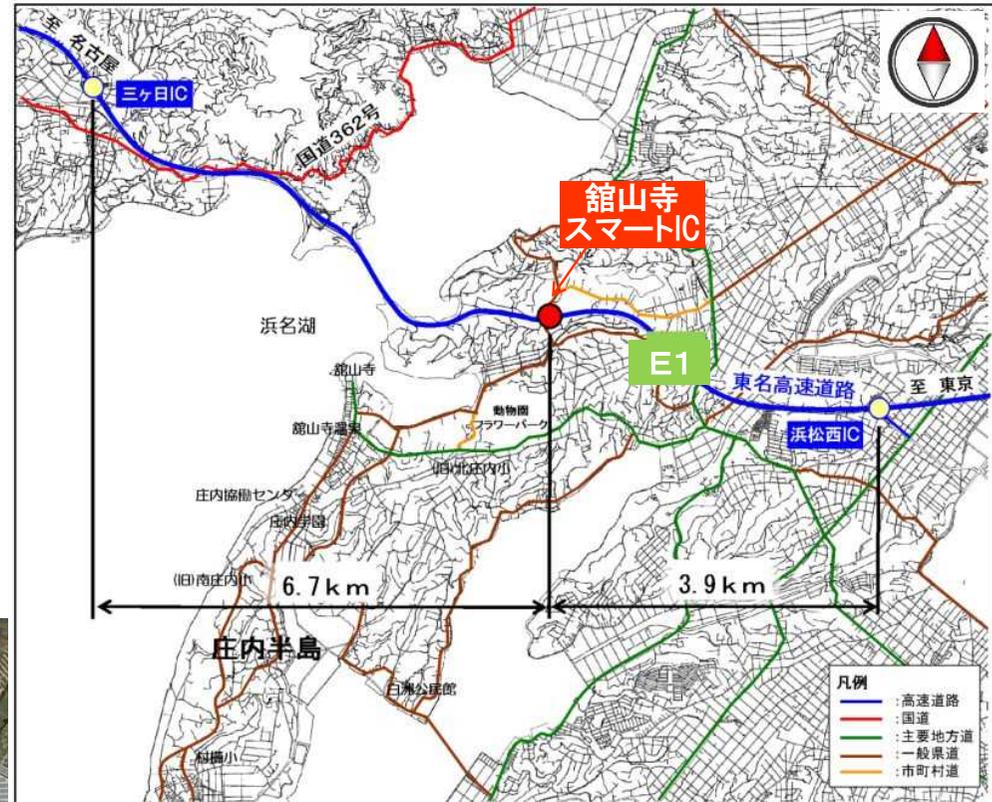
- ・ E 1 東名高速道路

● 接続形態

- ・ 本線直結型
- ・ フルインター形式

● 出入方向

- ・ 全方向（東京・名古屋方面）



● 利用時間

- ・ 24時間

● 対応車種

- ・ ETC車載器を搭載した全車種

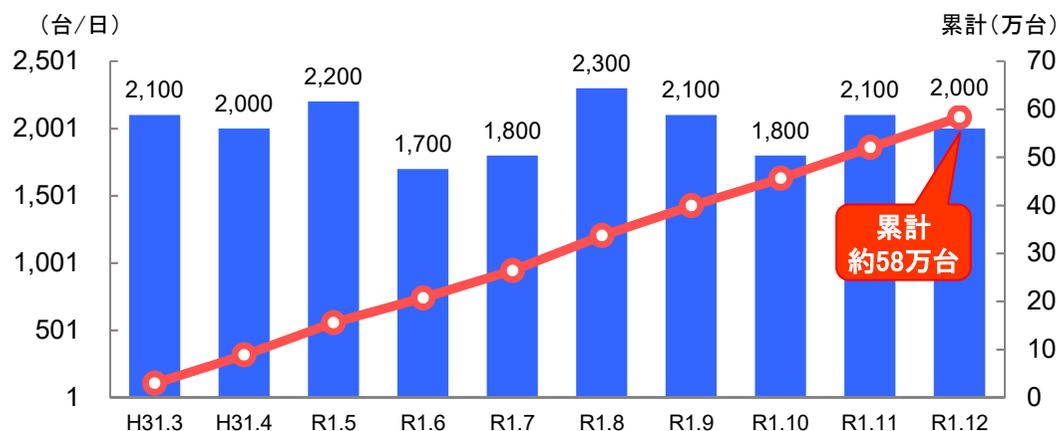
● 開通日

- ・ 平成31年3月17日

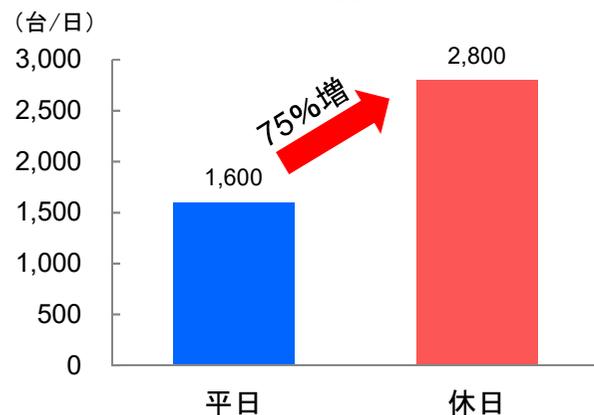
2. 館山寺スマートIC 開通後1年間(※)の利用状況について

- ・開通後1年間(※)では、**約2,000台/日**の利用があり、**累計約58万台**が利用しています。(図1)
- ・平日に比べ**休日に多く利用**されています。(図2)
- ・方向別では、東京方面利用が約4割、**名古屋方面利用が約6割**を占めています。(図3)

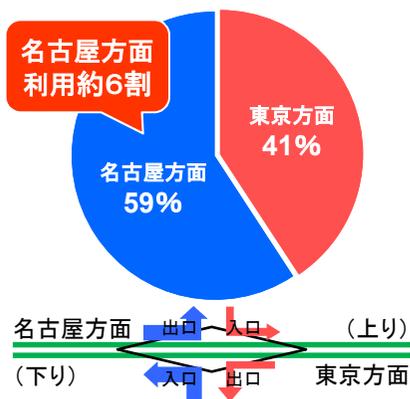
<図1 月別1日平均・累計利用台数> 集計期間: H31.3/18~R1.12/31



<図2 平日休日別平均利用台数>

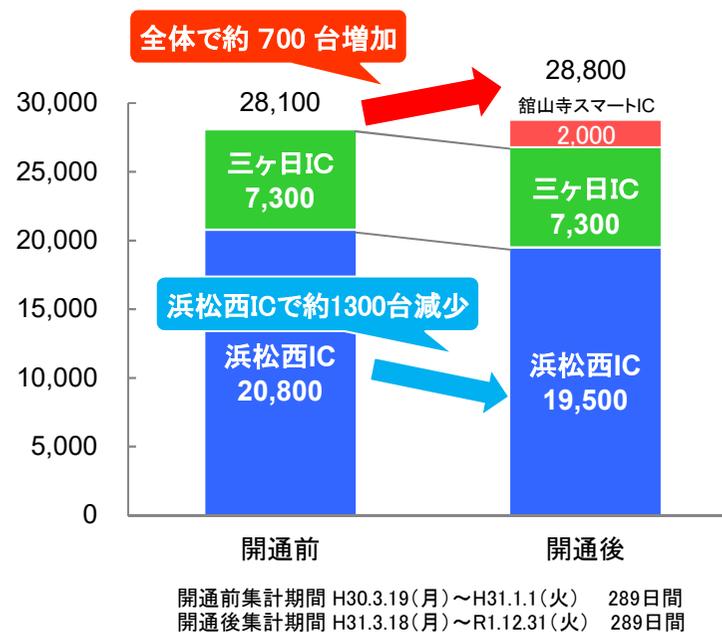


<図3 利用方向別割合>



- ・三ヶ日IC、館山寺スマートIC、浜松西ICの1日平均利用台数は、前年度と比較して**全体で約700台増加**しています。(図4)
- ・隣接する**浜松西IC**では利用台数が1日**約1,300台減少**しています。(図4)
- ・隣接するICの利用台数が減少していることから、隣接ICから**館山寺スマートICへ利用の転換**が考えられます。

<図4 各IC1日平均利用台数>



出典: 中日本高速道路(株)東京支社データ

※各集計において、新型コロナウイルスが社会的に影響を及ぼし始めた令和2年1月~令和2年3月は集計対象外とした。

3. 東名高速道路とのアクセス向上による効果(観光交通の分散による混雑の緩和)



・ 館山寺スマートICを利用することで、**観光交通の分散**が図られ、浜松西ICから館山寺地域を結ぶ一般道の和地向交差点において、**渋滞長が約7割減少**しました。



・ 館山寺スマートICが開設され、最寄りの高速道路ICから館山寺地域への一般道での移動距離が**約4.0km短縮**しました。アクセス時間は、東京方面からは**約7分短縮**、名古屋方面からは**約13分短縮**されました。



アクセス時間の短縮

東京方面からのアクセス……**約7分短縮** (R1.9.15測定)



※開通前ルート: 浜松西IC～一般道～館山寺温泉
 ※開通後ルート: 浜松西IC～館山寺SIC～一般道～館山寺温泉

名古屋方面からのアクセス……**約13分短縮** (R1.9.15測定)



※開通前ルート: 館山寺SIC～浜松西IC～館山寺温泉
 ※開通後ルート: 館山寺SIC～一般道～館山寺温泉



4. 東名高速道路とのアクセス向上による効果(観光客の増加に寄与)

- ・ 館山寺温泉の宿泊施設において、館山寺スマートICの整備前後では、宿泊者数が1ヶ月当り**約400人増加**しました。(図1)
- ・ 宿泊者数の方面別増加率は、首都圏では**約5%増加(1ヶ月当り約500人増加)**、関西圏では**約6%増加(1ヶ月当り約200人増加)**し、遠方からの観光客が増加したことがわかります。(図2)
- ・ 館山寺温泉周辺の観光施設では、入園者数が1ヶ月当り**約1,800人増加**しました。(図3)

<図1 1ヶ月平均 宿泊者数>

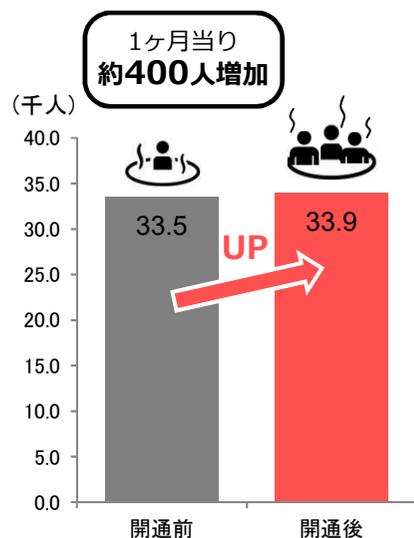


図1資料: 浜名湖かんざんじ温泉観光協会
開通前集計期間: 2018年4月~12月宿泊者数(1ヶ月平均)
開通後集計期間: 2019年4月~12月宿泊者数(1ヶ月平均)

<図2 宿泊者数 方面別増加率(抜粋)>

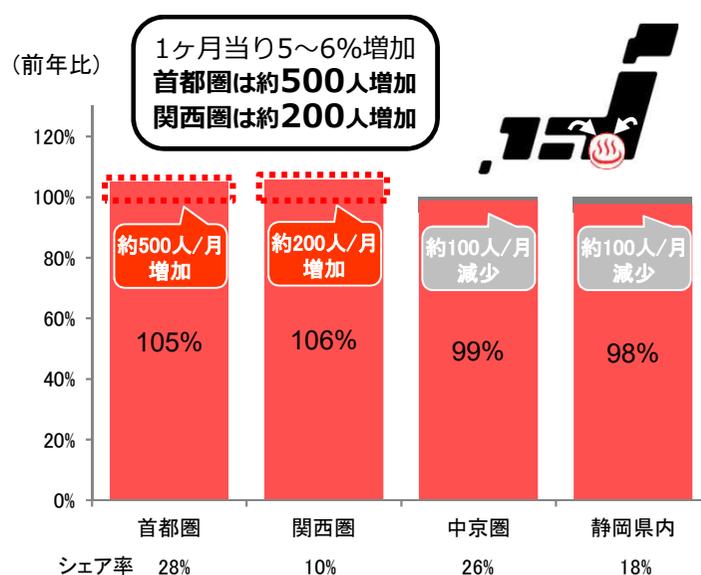


図2資料: 浜名湖かんざんじ温泉観光協会
集計期間: 2019年4月~12月宿泊者数累計前年比

<図3 周辺観光施設1ヶ月平均入園者数>

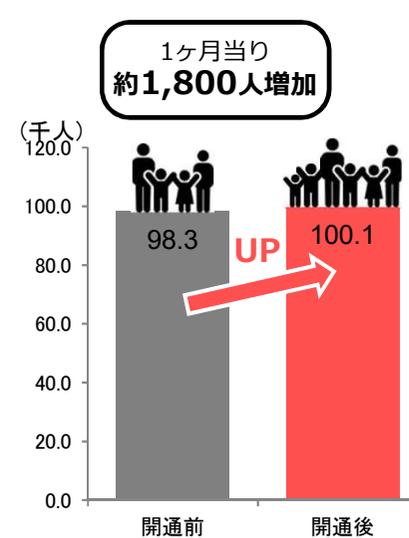


図3資料: 浜松市動物園、はままつアワーパーク、浜名湖パレパレ
開通前集計期間: 2018年4月~12月入園者数(1ヶ月平均)
開通後集計期間: 2019年4月~12月入園者数(1ヶ月平均)



観光協会の声

館山寺スマートICが開通して間もない3月下旬~6月に開催したスタンプラリー^{※1}では、応募数が**前年比353%と増大**しました。例年の応募方法を今年は簡易化したことありますが、スマートICができアクセスが改善したことで**浜名湖周辺施設を周遊する機会が増え、消費行動が拡大**したと考えられます。

※1:「浜名湖花フェスタ」スタンプラリー。関連施設(ホテル・飲食店・観光施設)の複数利用で応募できた。

アクセスが改善したことで、当園における**滞在時間が伸び、飲食店の消費も上がっています**。また、年間パスポートの購入者数が前年に比べ伸びており、リピーターの増加に期待しています。



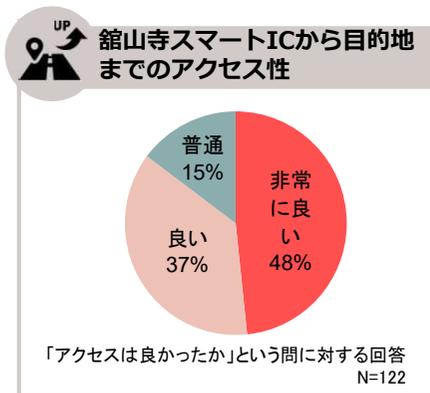
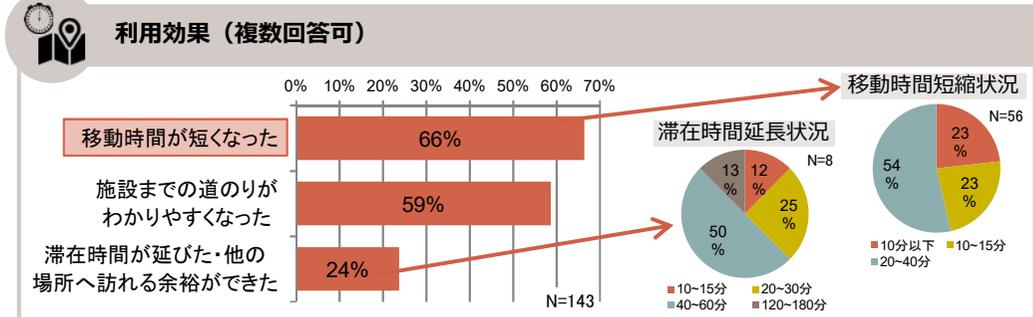
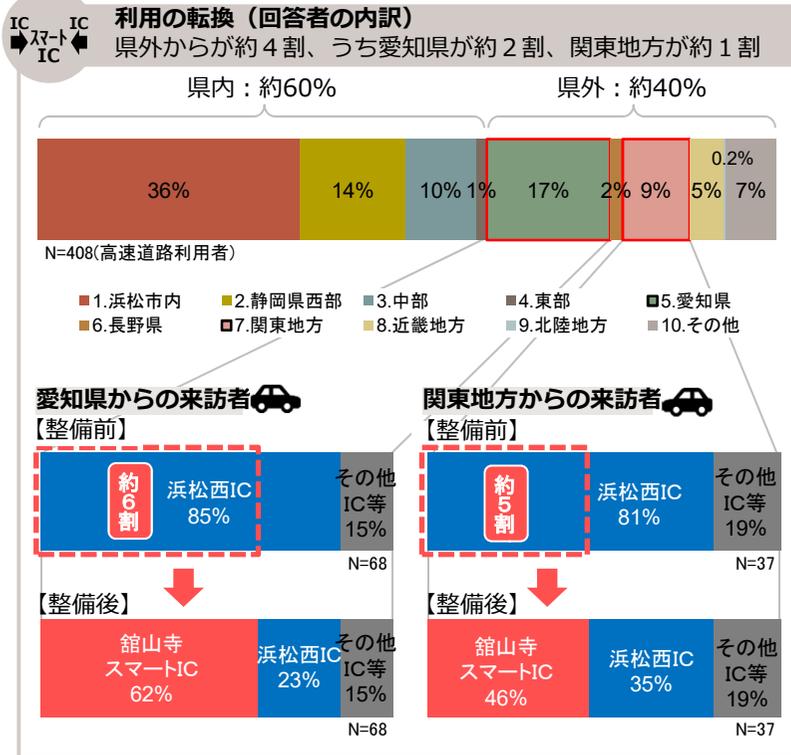
観光施設の声

※各集計において、新型コロナウイルスが社会的に影響を及ぼし始めた令和2年1月~令和2年3月は集計対象外とした。

5. 東名高速道路とのアクセス向上による効果(移動時間の短縮等)

利用実態
アンケート結果

- 
 県外からの観光客は、愛知県と関東地方が多く、整備前は主に浜松西 I C を利用していましたが、整備後は**愛知県で約 6 割**、**関東地方で約 5 割**の利用の転換がありました。
- 
 館山寺スマート I C の利用により目的地への**移動時間が短縮し**、**滞在時間の延長**や**他所への来訪**による行動範囲の拡大に効果がありました。
- 
 館山寺スマート I C から目的地までのアクセスについて、多くの利用者が**アクセスが良い**と感じていました。



浜松西IC利用者の声

 旅行の途中で館山寺スマートICの開通を知ったので、**帰りに利用**します。
※次回利用時には、**全ての方が館山寺スマート I C を利用すると回答**

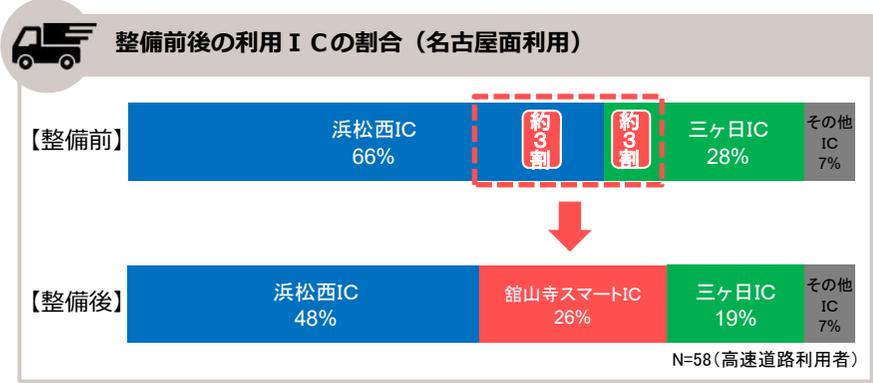
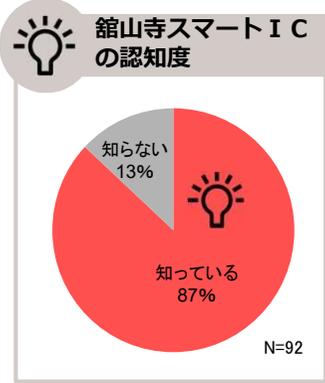
館山寺スマートIC利用者の声

 今までの**半分の時間**で来られたため時間を有効利用出来るようになり、**複数の施設**を訪れる余裕ができました。**渋滞も無くスムーズ**に来られました。

6. 東名高速道路とのアクセス向上による効果(物流の効率化)

利用実態
アンケート結果

- ・ 館山寺スマートICの**認知度**は、**約9割**ありました。
- ・ 名古屋方面に向かう際、整備前は主に浜松西ICを利用していましたが、整備後は浜松西ICと三ヶ日ICからそれぞれ**約3割の利用の転換**がありました。
- ・ 利用ICの分散により、浜松西ICへのアクセス道路の渋滞緩和や輸送ルートを選択肢の増加により、**移動時間の短縮、ドライバーの負担軽減、時間外勤務の減少**に効果がありました。
- ・ 館山寺スマートICができたことにより利用ICの選択肢が増え、目的地によって**ICを使い分ける**ドライバーも見られ、高速道路の利便性向上が図られています。



アンケート回答者の声

- ・ 高速道路は、取引先への訪問や製品運送等を目的に利用しています。一般道の渋滞解消等により移動時間が短縮できるようになり、**時間外勤務の減少**にもつながっています。
- ・ また、館山寺スマートICまでのルートは、**直線が多く交通量が少ない**ので浜松西ICより**アクセスが容易**になりました。
- ・ 主に名古屋方面へ移動するため開通はありがたい、**今後はさらに活用したい**です。

